

サクッとわかる 仕訳コレクション

試験会場に連れて行ってもらう！
「仕訳コレクション」ダウンロードサービス付

桑原知之

日商3級

「商業簿記」

サクッとわかる

変化の時代だから、質問できる優しい本

テキスト+問題集

しっかり&たのしく学んでサクッと合格！
「こんなテキスト、あったらいいな」を集めました

簿記学習の決定版！
さあ、合格めざして出発だ！

⑤ ネットスクール出版

2016年2月28日公開

仕訳1

現金

第2章

銀行から現金500円を借り入れた。

(借) 現 金 500 資 (貸) 借 入 金 500 負

仕訳2

現金

第2章

借入金500円を現金で返済した。

(借) 借 入 金 500 負 (貸) 現 金 500 資

仕訳3

現金

第3章

商品150円を売り上げ、代金として小切手を受け取った。

(借) 現 金 150 資 (貸) 売 上 150 収

仕訳4

現金

第3章

保有する株式の配当金領収証200円を受け取った。

(借) 現金 200 資 (貸) 受取配当金 200 収

仕訳5

現金

第3章

現金の実際有高が帳簿残高より200円不足していた。

(借) 現金過不足 200 他 (貸) 現金 200 資

仕訳6

現金

第3章

不足していた現金 200円(仕訳5)のうち 150円は、水道料金の支払い(水道光熱費で処理)の記入が漏れていたためだとわかった。

(借) 水道光熱費 150 費 (貸) 現金過不足 150 他

仕訳7

現金

第3章

現金の実際有高が帳簿残高より100円多かった。

(借) 現金 100 資 (貸) 現金過不足 100 他

仕訳8

当座預金

第3章

現金500円を当座預金に預け入れた。

(借) 当座預金 200 資 (貸) 現金 200 資

仕訳9

当座預金

第3章

商品300円を仕入れ(仕入で処理)、代金は小切手を振り出して支払った。

(借) 仕入 300 費 (貸) 当座預金 300 資

商品150円を売り上げ、代金として小切手を受け取り、すぐに当座預金に預け入れた。

(借) 当 座 預 金 150 **資** (貸) 売 上 150 **収**

現金過不足50円(借方残高)については、決算まで原因がわからなかった。

(借) 雑 損 50 **費** (貸) 現 金 過 不 足 50 **他**

現金過不足50円(貸方残)については、決算まで原因がわからなかった。

(借) 現 金 過 不 足 50 **他** (貸) 雑 益 50 **収**

仕訳13

有価証券

第4章

甲社株式10株を売買目的で1株につき1,000円で購入し、手数料3,000円とあわせて現金で支払った。

(借) 有 価 証 券	13,000	資	(貸) 現 金	13,000	資
-------------	--------	---	---------	--------	---

仕訳14

有価証券

第4章

売買目的で保有している甲社株式13,000円を12,000円で売却し、代金は現金で受け取った。

(借) 現 金	12,000	資	(貸) 有 価 証 券	13,000	資
(借) 有 価 証 券 売 却 損	1,000	費			

仕訳15

有価証券

第4章

保有する乙社社債の利払日になったので、その利札300円を銀行に持って行き、当座預金とした。

(借) 当 座 預 金	300	資	(貸) 有 価 証 券 利 息	300	収
-------------	-----	---	-----------------	-----	---

仕訳16

有価証券

第4章

売買目的で保有してゐる乙社社債(額面100円につき98円で購入した社債)10,000円を額面100円につき99円で売却し、代金は当座預金に振り込まれた。

(借) 当 座 預 金	9,900	資	(貸) 有 価 証 券	9,800	資
			(貸) 有 価 証 券 売 却 益	100	収

仕訳17

固定資産

第4章

倉庫を5,000円で購入し、仲介手数料200円とともに小切手を振り出して支払った。

(借) 建 物	5,200	資	(貸) 当 座 預 金	5,200	資
---------	-------	---	-------------	-------	---

仕訳18

固定資産

第4章

先に購入した倉庫(5,200円)を6,000円で売却し、代金は先方振り出しの小切手を受け取った。

(借) 現 金	6,000	資	(貸) 建 物	5,200	資
			(貸) 固 定 資 産 売 却 益	800	収

仕訳19

固定資産

第4章

先に購入した倉庫(5,200円)を4,500円で売却し、代金は先方振り出しの小切手を受け取った。

(借) 現	金	4,500	資	(貸) 建	物	5,200	資
(借) 固定資産売却損		700	費				

仕訳20

決算手続き

第4章

消耗品5,000円を現金で購入した(購入時に資産で処理する方法)。

(借) 消	耗	品	5,000	資	(貸) 現	金	5,000	資
-------	---	---	-------	---	-------	---	-------	---

仕訳21

決算手続き

第4章

決算において、消耗品が3,000円分残っていた。なお、当期に消耗品5,000円を購入したさい、資産で処理している。

(借) 消	耗	品	費	2,000	費	(貸) 消	耗	品	2,000	資
-------	---	---	---	-------	---	-------	---	---	-------	---

仕訳22

決算手続き

第4章

消耗品5,000円を現金で購入した(購入時に費用で処理する方法)。

(借) 消 耗 品 費 5,000 費 (貸) 現 金 5,000 資

仕訳23

決算手続き

第4章

決算において、消耗品が3,000円分残っていた。なお、当期に消耗品5,000円を購入したさい、費用で処理している。

(借) 消 耗 品 3,000 資 (貸) 消 耗 品 費 3,000 費

仕訳24

決算手続き

第4章

取得原価5,000円の建物について減価償却を行う。残存価額は取得原価の10%、耐用年数は5年である(直接法)。

(借) 減 価 償 却 費 900 費 (貸) 建 物 900 資

仕訳25

決算手続き

第4章

取得原価5,000円の建物について減価償却を行う。残存価額は取得原価の10%、耐用年数は10年である(間接法)。

(借) 減 価 償 却 費 450 (費) (貸) 減 価 償 却 累 計 額 450 (他)

仕訳26

決算手続き

第4章

取得原価5,000円の備品について減価償却を行う。残存価額は0、耐用年数は10年である(間接法)。

(借) 減 価 償 却 費 500 (費) (貸) 減 価 償 却 累 計 額 500 (他)

仕訳27

決算手続き

第4章

倉庫(取得原価5,200円、減価償却累計額2,000円、間接法で記帳)を当期首に3,000円で売却し、現金を受け取った。

(借) 減 価 償 却 累 計 額 2,000 (他) (貸) 建 物 5,200 (資)
 (借) 現 金 3,000 (資)
 (借) 固 定 資 産 売 却 損 200 (費)

仕訳28

決算手続き

第4章

倉庫(取得原価5,200円、減価償却累計額2,000円、間接法で記帳)を10月31日に3,000円で売却し、現金を受け取った。会計期間は1月1日から12月31日、残存価額は取得原価の10%、耐用年数5年、定額法で処理している。

(借) 減価償却累計額	2,000	他	(貸) 建物	5,200	資
(借) 減価償却費	780	費	(貸) 固定資産売却益	580	収
(借) 現金	3,000	資			

仕訳29

有価証券

第4章

乙社社債10,000円(額面総額)を売買目的で、額面100円につき98円で購入し、代金は現金で支払った。なお、付随費用はなかったものとする。

(借) 有価証券	9,800	資	(貸) 現金	9,800	資
----------	-------	---	--------	-------	---

仕訳30

商品売買

第5章

商品8,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。

(借) 仕入	8,000	費	(貸) 現金	8,000	資
--------	-------	---	--------	-------	---

仕訳31

商品売買

第5章

商品8,000円を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

(借) 仕 入 8,000 費 (貸) 当 座 預 金 8,000 資

仕訳32

商品売買

第5章

商品8,000円を仕入れ、代金は掛けとした。

(借) 仕 入 8,000 費 (貸) 買 掛 金 8,000 負

仕訳33

商品売買

第5章

買掛金8,000円を現金で支払った。

(借) 買 掛 金 8,000 負 (貸) 現 金 8,000 資

仕訳34

商品売買

第5章

前に掛けで仕入れた商品800円を返品した。

(借) 買	掛	金	800	負	(貸) 仕	入	800	費
-------	---	---	-----	---	-------	---	-----	---

仕訳35

商品売買

第5章

掛けで仕入れた商品につき、500円の値引きがあった。

(借) 買	掛	金	500	負	(貸) 仕	入	500	費
-------	---	---	-----	---	-------	---	-----	---

仕訳36

商品売買

第5章

商品1,000円を掛けで仕入れ、このときに運賃100円を現金で支払った。

(借) 仕	入	1,100	費	(貸) 買	掛	金	1,000	負
				(貸) 現		金	100	資

仕訳37

商品売買

第5章

商品1,000円を掛けて仕入れ、このときに運賃100円(先方負担、「立替金」で処理)を現金で支払った。

(借) 仕	入	1,000	費	(貸) 買	掛	金	1,000	負
(借) 立	替	金	100	資	(貸) 現	金	100	資

仕訳38

商品売買

第5章

商品1,000円を掛けて仕入れ、このときに運賃100円(先方負担、買掛金から減額)を現金で支払った。

(借) 仕	入	1,000	費	(貸) 買	掛	金	900	負
				(貸) 現	金		100	資

仕訳39

商品売買

第5章

商品の購入代金の手付金として1,000円を現金で支払った。

(借) 前	払	金	1,000	資	(貸) 現	金	1,000	資
-------	---	---	-------	---	-------	---	-------	---

商品5,000円を仕入れ、先に支払っていた手付金1,000円を差し引いた残額を月末払いとした。

(借) 仕	入	5,000	費	(貸) 前	払	金	1,000	資
				(貸) 買	掛	金	4,000	負

商品8,000円を売り上げ、代金は現金で受け取った。

(借) 現	金	8,000	資	(貸) 売	上	8,000	収
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

商品8,000円を売り上げ、代金は先方振り出しの小切手で受け取った。

(借) 現	金	8,000	資	(貸) 売	上	8,000	収
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

仕訳43

商品売買

第5章

商品8,000円を売り上げ、代金は掛けとした。

(借) 売 掛 金 8,000 資 (貸) 売 上 8,000 収

仕訳44

商品売買

第5章

売掛金8,000円を現金で受け取った。

(借) 現 金 8,000 資 (貸) 売 掛 金 8,000 資

仕訳45

商品売買

第5章

前に掛けで売り上げた商品800円が返品された。

(借) 売 上 800 収 (貸) 売 掛 金 800 資

掛けて売り上げた商品につき、500円の値引きをした。

(借) 売	上	500	収	(貸) 売	掛	金	500	資
-------	---	-----	---	-------	---	---	-----	---

商品1,000円を掛けて売り上げ、このときに当店で負担した発送運賃100円を現金で支払った。

(借) 売	掛	金	1,000	資	(貸) 売	上	1,000	収
(借) 発	送	費	100	費	(貸) 現	金	100	資

商品1,000円を掛けて売り上げ、このときに運賃100円(先方負担、「立替金」で処理)を現金で支払った。

(借) 売	掛	金	1,000	資	(貸) 売	上	1,000	収
(借) 立	替	金	100	資	(貸) 現	金	100	資

仕訳49

商品売買

第5章

商品1,000円を掛けて売り上げ、このときに運賃100円(先方負担、売掛金に含める)を現金で支払った。

(借) 売	掛	金	1,100	資	(貸) 売	上	1,000	収
					(貸) 現	金	100	資

仕訳50

商品売買

第5章

商品販売の手付金として1,000円を現金で受け取った。

(借) 現	金	1,000	資	(貸) 前	受	金	1,000	負
-------	---	-------	---	-------	---	---	-------	---

仕訳51

商品売買

第5章

商品5,000円を売り上げ、先に受け取っていた手付金1,000円を差し引いた残額を月末受け取りとした。

(借) 前	受	金	1,000	負	(貸) 売	上	5,000	収
(借) 売	掛	金	4,000	資				

仕訳52

その他の資産・負債

第5章

A商店はD商店に建物10,000円を売却し、代金は月末に受け取ることにした。

(借) 未 収 金 10,000 資 (貸) 建 物 10,000 資

仕訳53

その他の資産・負債

第5章

月末になり、A商店はD商店から建物代金の未収10,000円を現金で受け取った。

(借) 現 金 10,000 資 (貸) 未 収 金 10,000 資

仕訳54

その他の資産・負債

第5章

D商店はA商店から建物10,000円を購入し、代金は月末払いとした。

(借) 建 物 10,000 資 (貸) 未 払 金 10,000 負

月末になり、D商店はA商店に建物代金の未払10,000円を現金で支払った。

(借) 未払金 10,000 費 (貸) 現金 10,000 資

決算において、売上原価の計算を行う。
 なお、商品売買は三分法によって処理している。また、売上原価は仕入勘定で算定する。

・期首商品棚卸高100円 ・期末商品棚卸高200円

(借) 仕入 100 費 (貸) 繰越商品 100 資
 (借) 繰越商品 200 資 (貸) 仕入 200 費

A商店はB商店から商品8,000円を仕入れ、約束手形を振り出した。

(借) 仕入 8,000 費 (貸) 支払手形 8,000 負

仕訳58

手形

第6章

A商店はB商店宛てに振り出した約束手形8,000円を当座預金口座を通じて支払った。

(借) 支 払 手 形 8,000 **負** (貸) 当 座 預 金 8,000 **資**

仕訳59

手形

第6章

B商店はA商店に商品8,000円を売り上げ、A商店振り出しの約束手形を受け取った。

(借) 受 取 手 形 8,000 **資** (貸) 売 上 8,000 **収**

仕訳60

手形

第6章

B商店はA商店から受け取っていた約束手形8,000円が決済され、当座預金口座に入金された。

(借) 当 座 預 金 8,000 **資** (貸) 受 取 手 形 8,000 **資**

手形8,000円を銀行で割り引き、割引料500円を差し引いた残額を当座預金とした。

(借) 手形売却損	500	費	(貸) 受取手形	8,000	資
(借) 当座預金	7,500	資			

手形8,000円を銀行で割り引き、割引料を差し引いた残額を当座預金とした。なお、割引日数は50日で割引率は年7.3%である。

(借) 手形売却損	80	費	(貸) 受取手形	8,000	資
(借) 当座預金	7,920	資			

売掛金8,000円の代金として約束手形を受け取った。

(借) 受取手形	8,000	資	(貸) 売掛金	8,000	資
----------	-------	---	---------	-------	---

仕訳64

手形

第6章

A商店はB商店から商品8,000円を仕入れ、その代金としてD商店から受け取った約束手形を裏書譲渡した。

(借) 仕 入 8,000 費 (貸) 受 取 手 形 8,000 資

仕訳65

手形

第6章

A商店はC商店に商品8,000円を売り上げ、その代金としてE商店が振り出した約束手形を裏書譲渡された。

(借) 受 取 手 形 8,000 資 (貸) 売 上 8,000 収

仕訳66

当座借越

第7章

現金2,000円を当座預金で預け入れた。なお、当座借越が1,800円ある。(一勘定制で処理すること)。

(借) 当 座 2,000 他 (貸) 現 金 2,000 資

仕訳67

当座借越

第7章

現金2,000円を当座預金に預け入れた。なお、当座借越が1,800円ある。(二勘定制で処理すること)。

(借) 当 座 借 越	1,800	負	(貸) 現 金	2,000	資
(借) 当 座 預 金	200	資			

仕訳68

当座借越

第7章

買掛金3,000円を支払うため、小切手を振り出した。当座預金の残高は1,200円。銀行とは限度額2,000円の当座借越契約を結んでいる。(一勘定制で処理すること)。

(借) 買 掛 金	3,000	負	(貸) 当 座	3,000	他
-----------	-------	---	---------	-------	---

仕訳69

当座借越

第7章

買掛金3,000円を支払うため、小切手を振り出した。当座預金の残高は1,200円。銀行とは限度額2,000円の当座借越契約を結んでいる(二勘定制で処理すること)。

(借) 買 掛 金	3,000	負	(貸) 当 座 預 金	1,200	資
			(貸) 当 座 借 越	1,800	負

会計係は小口係から、電気代(水道光熱費)100円、切手代(通信費)200円、お茶代(雑費)100円を支払ったという報告を受けた。

(借) 水道光熱費	100	費	(貸) 小口現金	400	資
(借) 通信費	200	費			
(借) 雑費	100	費			

会計係が小切手400円を振り出して小口現金を補給した。

(借) 小口現金	400	資	(貸) 当座預金	400	資
----------	-----	---	----------	-----	---

店員の出張にあたって、旅費の概算額として5,000円を現金で支払った。

(借) 仮払金	5,000	資	(貸) 現金	5,000	資
---------	-------	---	--------	-------	---

店員が出張から帰店し、概算で5,000円を渡してあったが、実際の旅費が4,000円だったと報告を受け、残金を現金で受け取った。

(借) 旅費交通費	4,000	費	(貸) 仮払金	5,000	資
(借) 現金	1,000	資			

出張中の店員から3,000円の当座振り込みがあったが、その内容が不明である。

(借) 当座預金	3,000	資	(貸) 仮受金	3,000	負
----------	-------	---	---------	-------	---

仮受金として処理していた3,000円の振込金は売掛金の回収額であったことが判明した。

(借) 仮受金	3,000	負	(貸) 売掛金	3,000	資
---------	-------	---	---------	-------	---

従業員Pに給料の前払いとして10,000円を現金で支払った。

(借) 従業員立替金	10,000	資	(貸) 現金	10,000	資
------------	--------	---	--------	--------	---

従業員Pに対する給料は50,000円であったが、前払分10,000円を差し引いた残額を現金で支払った。

(借) 給料	50,000	費	(貸) 従業員立替金	10,000	資
			(貸) 現金	40,000	資

給料総額20,000円のうち、源泉徴収税額2,000円を差し引いた残額を現金で支給した。

(借) 給料	20,000	費	(貸) 預り金	2,000	負
			(貸) 現金	18,000	資

仕訳79

その他の資産・負債

第7章

給料支給時に差し引いていた源泉徴収税額2,000円を税務署に現金で納付した。

(借) 預り金 2,000 負 (貸) 現金 2,000 資

仕訳80

その他の資産・負債

第7章

商品券5,000円を発行し、現金で受け取った。

(借) 現金 5,000 資 (貸) 商品券 5,000 負

仕訳81

その他の資産・負債

第7章

商品5,000円を売り上げ、代金は当店発行の商品券で受け取った。

(借) 商品券 5,000 負 (貸) 売上 5,000 収

仕訳82

その他の資産・負債

第7章

商品5,000円を売り上げ、代金は他店発行の商品券で受け取った。

(借) 他店商品券 5,000 資 (貸) 売上 5,000 収

仕訳83

その他の資産・負債

第7章

他店発行の商品券5,000円を精算し、現金を受け取った。

(借) 現金 5,000 資 (貸) 他店商品券 5,000 資

仕訳84

その他の資産・負債

第7章

A商店は、D商店に現金8,000円を貸し付けた。

(借) 貸付金 8,000 資 (貸) 現金 8,000 資

A商店は、D商店から貸付金8,000円の返済を受け、利息とともに現金で受け取った。なお、年利率3%で貸付期間は5カ月であった。

(借) 現	金	8,100	資	(貸) 貸	付	金	8,000	資	
				(貸) 受	取	利	息	100	収

D商店は、A商店から現金8,000円を借り入れた。

(借) 現	金	8,000	資	(貸) 借	入	金	8,000	負
-------	---	-------	---	-------	---	---	-------	---

D商店は、A商店に借入金8,000円を返済し、利息100円とともに現金で支払った。

(借) 借	入	金	8,000	負	(貸) 現	金	8,100	資
(借) 支	払	利	息	100	費			

仕訳88

その他の資産・負債

第7章

A商店は、D商店に現金8,000円を貸し付け、約束手形を受け取った。

(借) 手形貸付金	8,000	資	(貸) 現金	8,000	資
-----------	-------	---	--------	-------	---

仕訳89

その他の資産・負債

第7章

A商店は、D商店から手形貸付金8,000円の返済を受け、利息100円とともに現金で受け取った。

(借) 現金	8,100	資	(貸) 手形貸付金	8,000	資
			(貸) 受取利息	100	収

仕訳90

その他の資産・負債

第7章

D商店は、A商店から現金8,000円を借り入れ、約束手形を振り出した。

(借) 現金	8,000	資	(貸) 手形借入金	8,000	負
--------	-------	---	-----------	-------	---

D商店は、A商店に手形借入金8,000円の返済をし、利息100円とともに現金で支払った。

(借) 手形借入金	8,000	負	(貸) 現金	8,100	資
(借) 支払利息	100	費			

お店の開業にあたり、現金500円を元入れした。

(借) 現金	500	資	(貸) 資本金	500	純
--------	-----	---	---------	-----	---

店主が現金200円を家計費として引き出した。

(借) 引出金	200	他	(貸) 現金	200	資
---------	-----	---	--------	-----	---

仕訳94

税金

第7章

事業用の店舗に係る固定資産税500円を現金で支払った。

(借) 租 税 公 課 500 費 (貸) 現 金 500 資

仕訳95

決算手続き

第7章

決算において、引出金750円がある。

(借) 資 本 金 750 純 (貸) 引 出 金 750 他

仕訳96

小口現金

第8章

会計係が小口係に前渡分として小切手1,000円を振り出した。

(借) 小 口 現 金 1,000 資 (貸) 当 座 預 金 1,000 資

小口係は電気代(水道光熱費)100円、切手代(通信費)200円、お茶代(雑費)100円を支払った。

仕 訳 な し

決算において、売掛金残高100,000円について5%の貸倒引当金を設定した(差額補充法)。なお、貸倒引当金残高は4,000円であった。

(借) 貸倒引当金繰入 1,000 費 (貸) 貸倒引当金 1,000 他

決算において、売掛金残高100,000円について5%の貸倒引当金を設定した(差額補充法)。なお、貸倒引当金残高は8,000円あった。

(借) 貸倒引当金 3,000 他 (貸) 貸倒引当金戻入 3,000 収

前期に発生した売掛金2,000円が貸し倒れた(貸倒引当金残高5,000円)。

(借) 貸 倒 引 当 金 2,000 他 (貸) 売 掛 金 2,000 資

前期に発生した売掛金7,000円が貸し倒れた(貸倒引当金残高5,000円)。

(借) 貸 倒 引 当 金 5,000 他 (貸) 売 掛 金 7,000 資
 (借) 貸 倒 損 失 2,000 費

前期に貸倒処理をしていた売掛金2,000円を現金で回収した。

(借) 現 金 2,000 資 (貸) 償 却 債 権 取 立 益 2,000 収

仕訳103

決算手続き

第11章

×1年11月1日に×2年10月31日までの1年分の家賃12,000円を現金で支払った。

(借) 支 払 家 賃 12,000 費 (貸) 現 金 12,000 資

仕訳104

決算手続き

第11章

×1年12月31日になり、決算をむかえた。なお、×1年11月1日に×2年10月31日までの1年分の家賃12,000円を現金で支払っている。

(借) 前 払 家 賃 10,000 経 (貸) 支 払 家 賃 10,000 費

仕訳105

決算手続き

第11章

×1年11月1日に向こう1年分の利息120円を現金で受け取った。

(借) 現 金 120 資 (貸) 受 取 利 息 120 収

仕訳106

決算手続き

第11章

×1年12月31日になり、決算をむかえた。なお、×1年11月1日に向こう1年分の利息120円を現金で受け取っている。

(借) 受 取 利 息 100 収 (貸) 前 受 利 息 100 経

仕訳107

決算手続き

第11章

×1年12月31日になり、決算をむかえた。なお、×1年11月1日から建物の賃借をしているが、家賃は1年後(×2年10月31日)にまとめて支払うこととなっている(1か月の家賃は100円である)。

(借) 支 払 家 賃 200 費 (貸) 未 払 家 賃 200 経

仕訳108

決算手続き

第11章

×1年12月31日になり、決算をむかえた。なお、×1年11月1日に現金を貸し付けており、利息は1年後(×2年10月31日)にまとめて受け取ることとなっている(1か月の利息は10円である)。

(借) 未 収 利 息 20 経 (貸) 受 取 利 息 20 収